

【多摩都市モノレール（株）】の活用戦略を踏まえた課題と今後の方向性

活用戦略で定めた「団体の将来像」

多摩地域の南北を結び、地域の魅力と活力の向上に貢献する公共交通事業者

重要課題 ①

多摩地域の発展を支える交通ネットワークとしての更なる充実・利便性向上とともに、多摩地域の活性化への貢献に向けて、沿線自治体や企業との連携強化による賑わいの創出をいかに図っていくか

検討の状況や今後の方向性

- 当社は多摩地域を南北に結ぶ交通事業者として、経営理念において「多摩地域の魅力と活力の向上に貢献する」ため、「地域との連携を深めていく」こととしている。
- これまでの取組
 - ・列車を活用した地元企業との連携（貸切列車、ビール列車）
 - ・駅を活用したイベントの開催（沿線大学と連携したコンサートの開催、沿線児童が描いた「富士山銭湯絵」の展示）
 - ・運営基地の開放（多摩モノまつり）
- 今後の取組
 - ・東京2020大会及びラグビーW杯開催に向けた機運醸成（ラッピング列車の運行）
 - ・沿線地域との連携（地元商工会議所と連携したイベントの開催）

【多摩都市モノレール（株）】の課題と今後の方向性

重要課題 ②	自立的で持続可能な経営の実現
検討の状況や今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">○ 社会情勢、事業環境の変化に伴い、当社経営上以下の課題を抱えている。<ul style="list-style-type: none">① 少子高齢化の進展による沿線人口の減少② 開業から20年経過したことによる、施設・設備の老朽化③ 将来の会社経営を担う人材の確保 ○ これらの課題を克服するため、以下の取組みを実施する。<ul style="list-style-type: none">① お客様サービスの向上（より利便性の高いダイヤの追求、駅舎改修）② 安全の確保（施設・設備の計画的な更新及び改良、最新のバリアフリー基準の導入）③ 人材の確保（将来を担う固有社員の育成、計画的な人員配置） ○ 現在東京都とともに検討を進めている延伸については、都との情報共有を密にし、総合的な経営の安定化に留意しながら適切に対応していく。